

# 2008年3月期 中間決算 説明資料

Financial results for the six months period ended September 30, 2007

2007年11月8日

株式会社CSKホールディングス

CSK HOLDINGS CORPORATION

## ・2008年3月期 中間決算の業績概要

Overview of consolidated financial results for 1 half of FY2008/3

## ・情報サービス事業の業績

IT services business

## ・金融サービス関連事業の業績

Financial services related business

## ・2008年3月期 通期業績の見通し

Consolidated business forecast for FY2008/3

### < 免責事項 Disclaimer >

本資料は、業績およびグループ事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、CSKホールディングス及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。本説明会及び資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願い致します。

This material is intended to provide information about the business performance and strategy of the CSK Group. It is not intended and should not be construed as an inducement to purchase or sell stock in CSK HOLDINGS or CSK Group companies. Statements in this presentation and at the explanatory meeting that are not historical fact are forward-looking statements, based on the current beliefs, estimates and expectations of management. As these beliefs, estimates and expectations are subject to a number of risks, uncertainties, and assumptions, actual results may be materially different. CSK HOLDINGS undertakes no obligation to update any forward-looking statements, and shall in no event be liable for any damages arising out of the use or interpretation of this material. Please refrain from copying, disseminating or distributing this material without the prior consent of CSK HOLDINGS.

## 情報サービス事業： 売上+3.9%、営業利益+14.5%

新規事業立ち上げやサービスプロバイダーに向けた投資が継続するも大幅増益。

金融業界の高い需要や生産性向上により、利益率も改善。( 8.3% → 9.2%)

## 金融サービス事業： 売上+11.7%、営業利益+10.2%

不動産の証券化関連事業は引き続き好調。案件増加により、年間計画を上方修正。

## サービスプロバイダー企業グループへの転換を加速

テクノロジーサービス分野の再編に続き、ビジネスサービス分野を再編(1月予定)。

CSKプレッシュエンド・CSK-RB証券など新会社立ち上げにより、事業転換を推進。

(単位:百万円/millions of yen)

	2006/9	2007/9	前年同期比	増減率
売上高 Operating revenue	119,626	125,321	5,694	4.8%
営業利益 Operating income	19,247	19,150	△97	△0.5%
営業利益率 Operating margine	16.1%	15.3%	△0.8%	-
経常利益 Ordinary income	19,809	19,980	170	0.9%
中間純利益 Net income	10,490	12,083	1,593	15.2%

(単位:円/yen)

	2006/9	2007/9	前年同期比
1株当たり利益 Earning per share	142.06	163.89	21.83

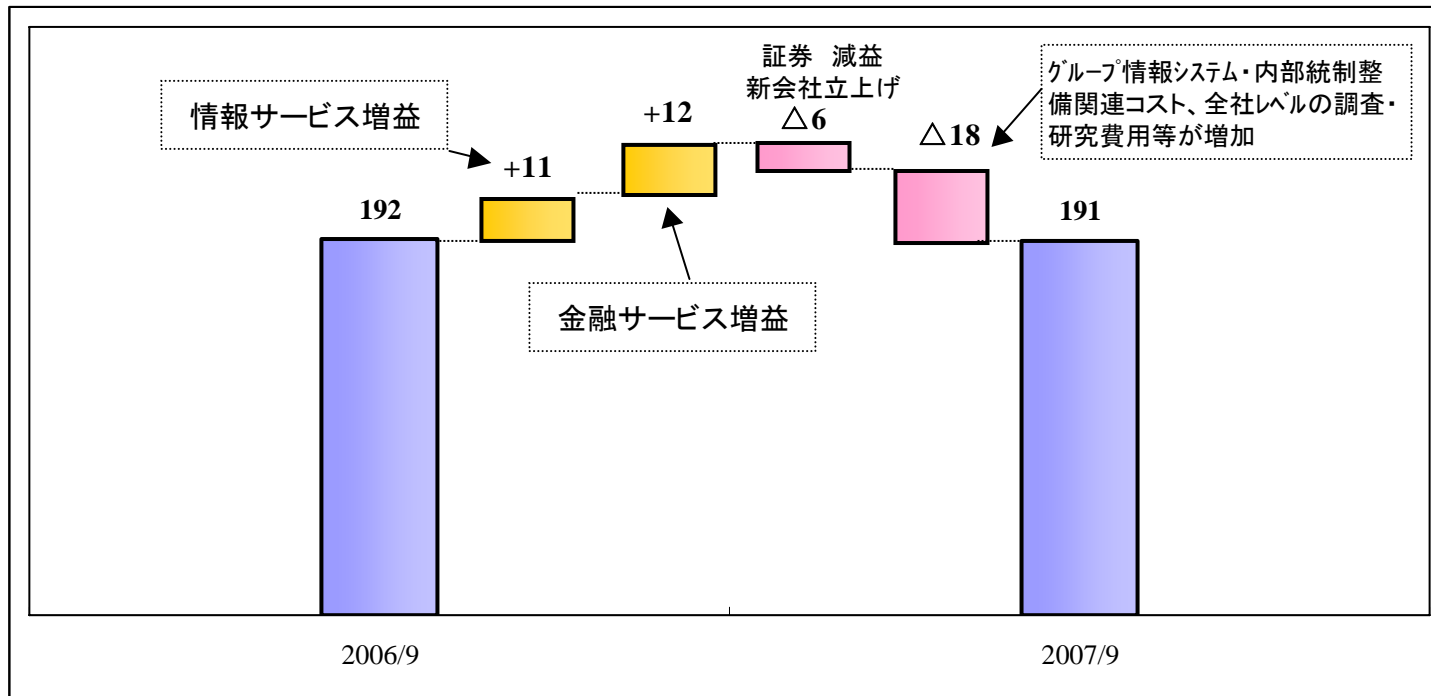
# 営業利益の対前年同期比増減要因



## Attribution analysis

好調な情報サービスおよび金融サービスでの増益により、グループ共通のシステムインフラ、内部統制体制の整備、調査研究等の費用をカバー。

(単位: 億円/100millions of yen)



# 販売管理費・営業外損益の内訳



## Sales & administration costs and non-operating income / expenses

(単位: 億円/100millions of yen)

販売管理費	2006/9	2007/9	前年同期比 Variance	増減要因 又は 内容説明 (Reason or explanation of account)
人件費	136.2	152.6	16.3	営業強化、スタッフ増員、役員報酬、サステナビリティ実現のための研究活動 等
業務委託料	29.6	40.2	10.5	コスモ証券での業務拡充に伴う委託費増加 等
減価償却費	8.8	12.3	3.5	CSKホールディングス・コスモ証券での設備増加
家賃	24.6	25.9	1.2	営業拠点の拡大、単価の上昇 等
その他	81.6	93.3	11.7	支払手数料、消耗品費、保守料 等
販売管理費 計	280.9	324.3	43.4	

営業外収益	2006/9	2007/9	前年同期比 Variance	増減要因 又は 内容説明 (Reason or explanation of account)
受取利息	0.9	2.2	1.3	預金利息の増加 等
受取配当金	2.3	2.6	0.2	保有有価証券に係る配当金が増加
カード退蔵益	4.4	5.2	0.8	プリペイドカードの未使用見込分が増加
保険配当収入	1.2	-	△1.2	団体定期保険の保険配当金減少
その他	2.8	5.7	2.9	主な内容: 法人税等還付加算金、家賃収入 等
営業外収益 計	11.7	15.8	4.1	

営業外費用	2006/9	2007/9	前年同期比 Variance	増減要因 又は 内容説明 (Reason or explanation of account)
支払利息	0.4	0.5	0.0	主に社債利息
投資有価証券売却損	-	2.8	2.8	保有有価証券の売却
退職給付引当金繰入額	1.3	1.3	-	会計基準変更時差異の償却額
証券代行手数料	0.8	-	△0.8	信託銀行への株式事務委託費用
転籍調整費用	1.1	0.8	△0.2	転籍に伴う給与調整額
その他	2.3	2.0	△0.3	主な内容: 諸手数料、投資事業組合損失 等
営業外費用 計	6.1	7.5	1.4	
営業外損益 Net	5.6	8.3	2.6	

# 特別損益の内訳

## Extraordinary gains & losses



(単位: 億円/100millions of yen)

特別利益	2006/9	2007/9	前年同期比 Variance	増減要因 又は 内容説明 (Reason or explanation of account)
固定資産売却益	2.0	-	△2.0	2006/9: 保有不動産売却による売却益
貸倒引当金戻入益	0.8	0.3	△0.5	過年度の貸倒設定債権のうち回収できたものに係る利益
事業譲渡益	2.7	-	△2.7	2006/9: グループ会社における事業譲渡に係る利益
受取賠償金	-	0.9	0.9	保有有価証券発行会社からの受取賠償金
その他	1.4	0.1	△1.3	主な内容: 投資有価証券売却益 等
特別利益 計	7.2	1.4	△5.7	
特別損失	2006/9	2007/9	前年同期比 Variance	増減要因 又は 内容説明 (Reason or explanation of account)
固定資産除却損	0.4	-	△0.4	2006/9: 主に事業用資産の除却
減損損失	-	1.8	1.8	データベース・ソフトウェアの減損
投資有価証券評価損	-	10.9	10.9	保有有価証券の評価損
損害賠償金	1.0	-	△1.0	2006/9: グループ会社における損害賠償金
貸倒損失	0.7	-	△0.7	2006/9: グループ会社における貸倒損失
証券業に係る特別法上の準備金	1.2	1.2	0.0	証券取引責任準備金及び金融先物取引責任準備金の繰入額
その他	0.5	1.3	0.7	主な内容: 固定資産売却損 等
特別損失 計	4.1	15.3	11.2	
特別損益 Net	3.1	△13.8	△17.0	

# 計画対比

## Attribution analysis



(単位:百万円/millions of yen)

	2007/9計画	2007/9実績	計画比	増減率
売上高 Operating revenue	130,000	125,321	△4,679	△3.6%
営業利益 Operating income	23,000	19,150	△3,850	△16.7%
営業利益率 Operating margin	17.7%	15.3%	△2.4%	-
経常利益 Ordinary income	24,000	19,980	△4,020	△16.8%
中間純利益 Net income	16,000	12,083	△3,917	△24.5%

※8/7 修正発表値

<b>売上高</b>		<b>公表値比</b>	<b>△ 47億円</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>情報サービス</li> <li>金融サービス</li> <li>証券</li> </ul>	機器販売の減少など 売却タイミングを下半期に変更 サブプライム問題などに起因する市場の低迷		△ 15億円 △ 20億円 △ 10億円
<b>営業利益</b>		<b>公表値比</b>	<b>△ 39億円</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>情報サービス</li> <li>金融サービス</li> <li>証券</li> </ul>	システム開発事業の生産性向上 売却タイミングを下半期に変更 営業投資有価証券の評価減 証券市場の低迷と事業基盤整備		+ 5億円 △ 20億円 △ 6億円 △ 15億円
<b>中間純利益</b>		<b>公表値比</b>	<b>△ 39億円</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>証券市場の一時的な低迷により、時価のある有価証券を減損</li> </ul>			△ 10億円



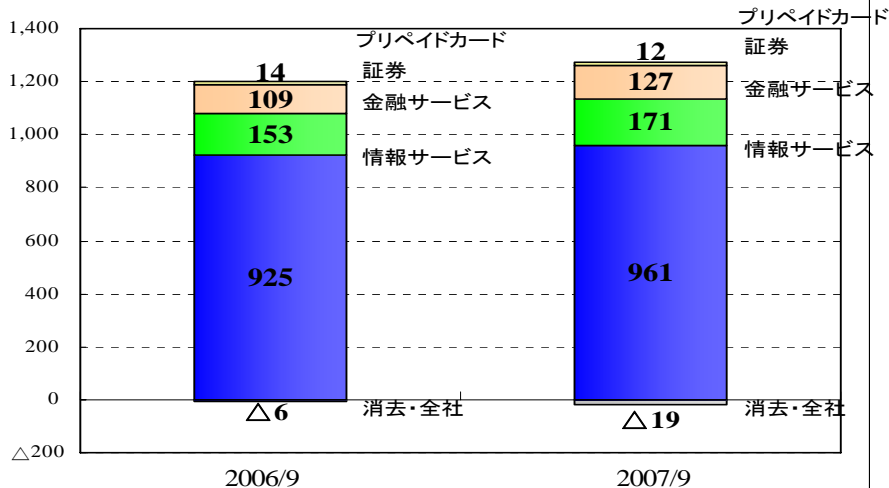
# セグメント別業績

## Operating result by segments

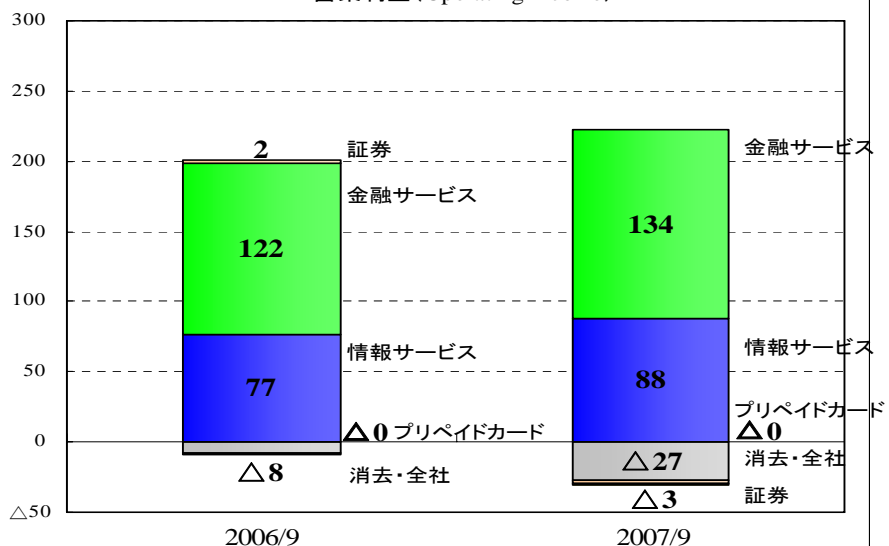


(単位: 億円/100millions of yen)

売上高 (Operating revenue)



営業利益 (Operating income)

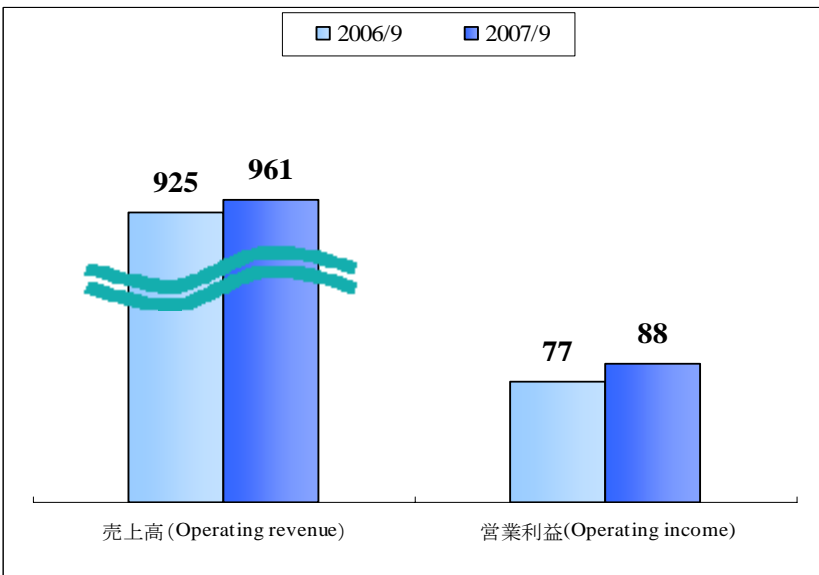


	2006/9	2007/9	前年同期比 Variance	増減率
情報サービス事業 : IT services business				
売上高 Operating revenue	925	961	36	3.9%
営業利益 Operating income	77	88	11	14.5%
金融サービス事業 : Financial services business				
売上高 Operating revenue	153	171	17	11.7%
営業利益 Operating income	122	134	12	10.2%
証券事業 : Securities business				
売上高 Operating revenue	109	127	17	16.0%
営業利益 Operating income	2	△3	△6	△236.8%
プリペイドカード事業 : Prepaid card business				
売上高 Operating revenue	14	12	△2	△13.9%
営業利益 Operating income	△0	△0	0	-
消去又は全社 : Elimination & Corporation				
売上高 Operating revenue	△6	△19	△12	-
営業利益 Operating income	△8	△27	△18	-
合計 : Total				
売上高 Operating revenue	1,196	1,253	56	4.8%
営業利益 Operating income	192	191	△0	△0.5%

# 情報サービス事業の業績(1)



## Operating results of IT services business(1)



<情報サービス事業：売上+3.9%、営業利益+14.5%>

新規事業立ち上げやサービスプロバイダーに向けた投資が継続するも、金融業の強い需要や生産性向上により、利益率は9.2%(+0.8%)に改善。

### ーテクノロジーサービス:

金融業を中心にIT投資拡大は継続。特に銀行の統合案件や生損保の再構築案件が牽引。来期以降に予定されている複数の大型案件についても具体化が進展中。

### ービジネスサービス:

CSKプレッシュェンドなど新規事業の立ち上げやBPOセンターなどに関する投資増加により、減益。ITS関連、デジタル家電にかかる製品検証サービスが拡大。

(単位: 億円/100millions of yen)

		2006/9	2007/9	前年同期比 Variance	増減率
CSK-SYS ※1 (再編各社 合計)	売上高 Operating revenue	587	592	5	1.0%
	営業利益 Operating income	43	58	15	35.6%
JIEC	売上高 Operating revenue	68	73	5	7.5%
	営業利益 Operating income	4	7	3	77.8%
SWC(連結)	売上高 Operating revenue	100	99	△0	△0.6%
	営業利益 Operating income	8	7	△0	△9.1%
CCO(連結)	売上高 Operating revenue	28	31	2	8.4%
	営業利益 Operating income	1	2	0	72.6%
VERI	売上高 Operating revenue	31	43	12	39.0%
	営業利益 Operating income	5	6	1	38.3%
CSK-SS ※1	売上高 Operating revenue	73	63	△10	△13.8%
	営業利益 Operating income	16	10	△6	△36.3%
その他、連結消去 ※2 Others, Elimination	売上高 Operating revenue	36	57	21	59.3%
	営業利益 Operating income	△1	△4	△3	-
情報サービス事業 IT services business		925	961	36	3.9%
		77	88	11	14.5%
営業利益率 Operating margin		8.3%	9.2%	0.8%	

※1 2006/9のCSK-SYSは比較有用性を考慮し、2007/1/1付で事業移管した証券向け事業相当部分をCSK-SSへ組替。

※2 その他の会社業績と連結消去の合算値を記載。

# 情報サービス事業の業績(2)

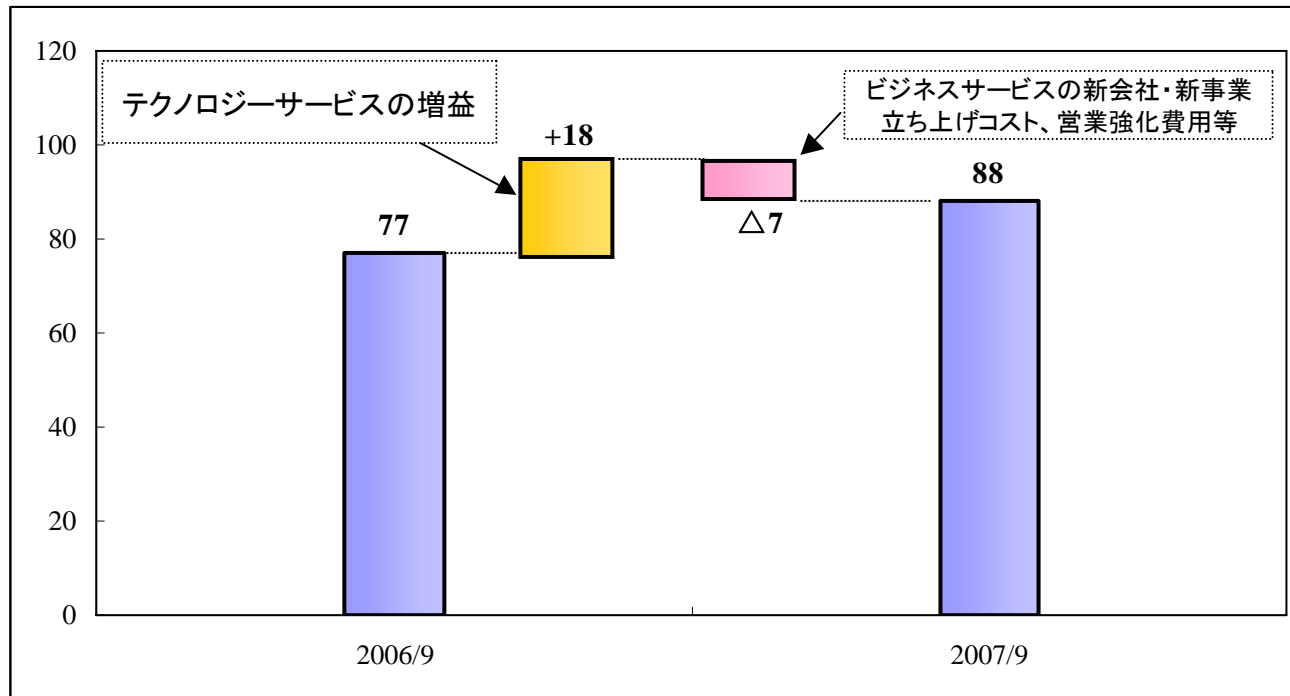


## Operating results of IT services business(2)

### 営業利益の対前年同期比増減要因 Attribution analysis

ビジネスサービスでの先行投資費用等を、テクノロジーサービスの増収・収益性改善でカバーし、情報サービス事業としては、+11億円(+14.5%)の増益。

(単位: 億円/100millions of yen)



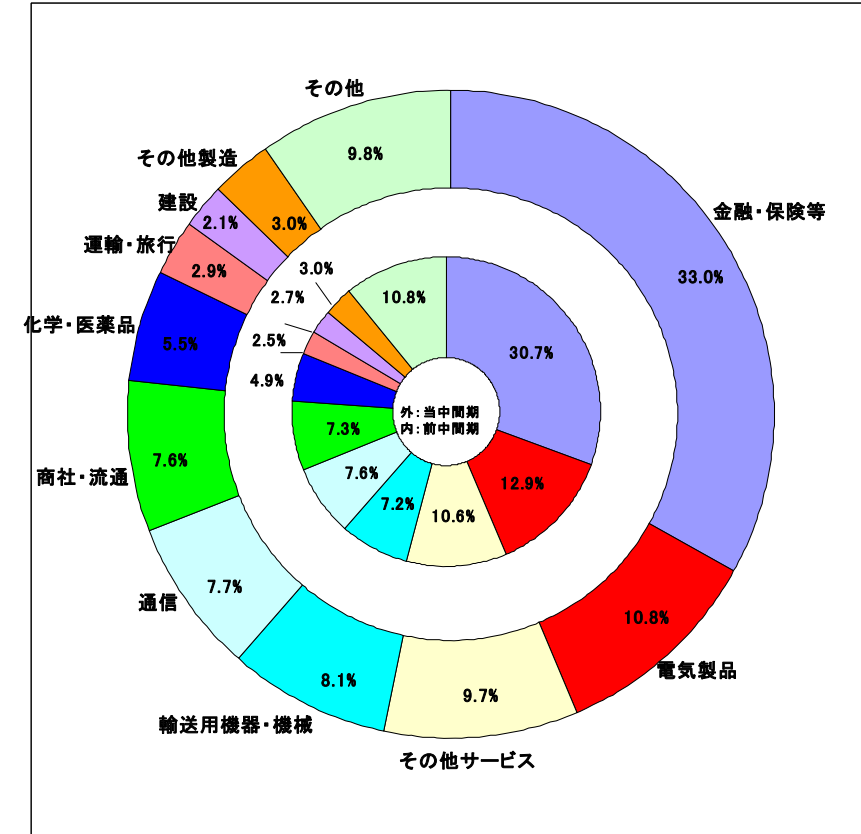
# 情報サービス事業の業績(3)



## Operating results of IT services business(3)

### 業種別売上推移 Operating revenue by industry

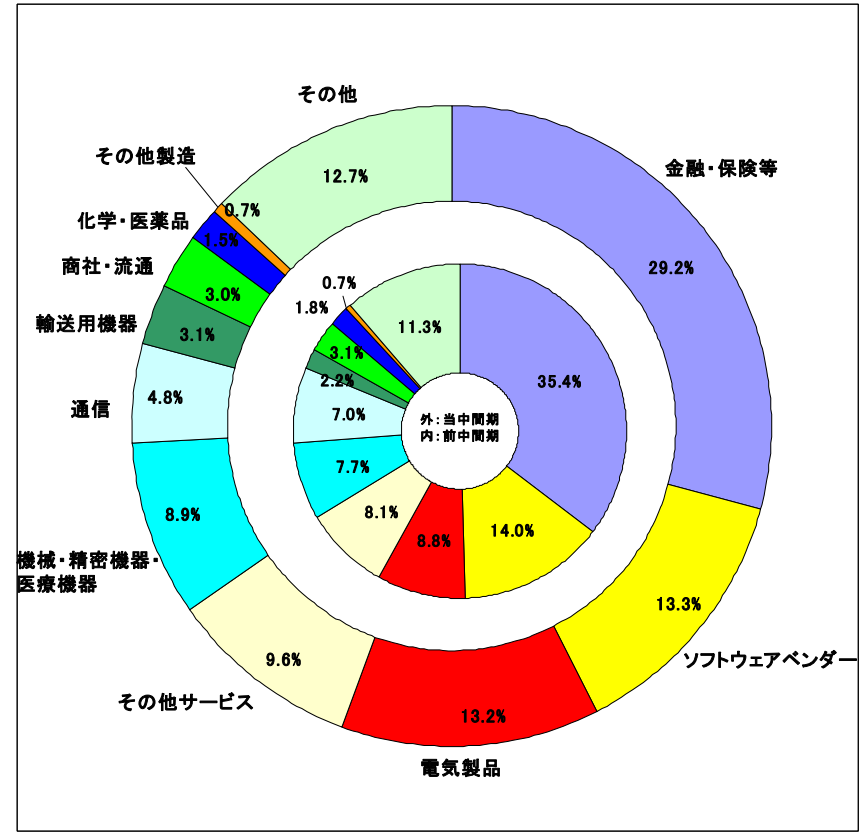
#### テクノロジーサービス



#### <テクノロジーサービス>

システム開発、システム運用、ITアウトソーシングなどのITサービス

#### ビジネスサービス



#### <ビジネスサービス>

テクニカルサポートなどのコンタクトセンター業務やその他のバックオフィスサービス

# 情報サービス事業の業績(4)



## Operating results of IT services business(4)

### グループ会社の状況

Main group companies

(単位:百万円/millions of yen)

#### CSKシステムズ

##### <会社概要>

CSKグループの情報サービス事業の中核企業として、常にお客様の業務視点からASP、BPO、ITOなどを組み合わせた複合サービスを提供。

##### <2008年3月期中間実績>

- 金融・保険業向けシステム開発等が好調に拡大するも機器販売の減少や教育事業の撤退により減収
- 営業利益対前年比 大幅増益 +29.9% サービスプロバイダー事業拡大に向けたテーマの絞り込みによる稼働率の向上や生産性の改善、さらに、契約条件の改善等の影響により、利益率も改善。 → 11.1% (+2.8%)

##### <2008年3月期見通し>

- 金融・保険業界向け営業状況は引き続き好調。来期以降についても良好な環境が見込まれ、売上拡大に貢献
- 金融業向け業務アウトソーシング事業が下期以降に立ち上がり収益性向上へ
- プロジェクト別採算管理の徹底を継続することにより、リスクをコントロールし、更なる生産性向上と収益性の改善を図る

	2006/9	2007/9	増減率	2008/3
売上高	33,804	32,769	△3.1%	75,500
営業利益	2,795	3,632	29.9%	7,500
営業利益率	8.3%	11.1%	-	9.9%
経常利益	2,706	3,641	34.6%	7,500
中間純利益	-	1,543	-	4,500

※2007/7再編後の体制にて比較

#### JIEC

##### <会社概要>2001年7月 東証2部上場(4291)

基盤技術をコアコンピタンスとして、難度の高い大規模なシステム構築の豊富な経験を活かしお客様が使いやすく、かつ信頼性の高い情報システムを提供。

##### <2008年3月期中間実績>

- 金融分野向けシステム開発を中心に売上げが拡大し増収。
- 過去最高の営業利益を達成 増収効果に加え、システム開発における生産性の向上や販管費の抑制により大幅な増益。
- 当初計画を売上+5.6%、営業利益+56.1%上回る着地。

##### <2008年3月期見通し>

- 金融分野向けが引き続き好調に推移することに加え、法改正や内部統制整備対応関連の需要が増加し、増収増益見込み。
- 新規事業投資や人材採用強化に伴う費用は増加するものの生産性の向上等が利益率の改善に貢献。
- 通期計画を上方修正: 営業利益 +5.3%

	2006/9	2007/9	増減率	2008/3
売上高	6,879	7,395	7.5%	15,500
営業利益	404	718	77.8%	1,400
営業利益率	5.9%	9.7%	-	9.0%
経常利益	406	726	78.6%	1,400
中間純利益	213	424	98.2%	800

##### ログ統合・証跡管理SaaS「Log Shelter」

内部統制対応の基本となるログの取得、保管、分析機能を SaaS型ログ統合・証跡管理サービスとして2008年4月より提供開始を予定

# 情報サービス事業の業績(4)



## Operating results of IT services business(4)

### グループ会社の状況

Main group companies

(単位:百万円/millions of yen)

#### ベリサーブ

<会社概要> 2003年12月 東証マザーズ上場(3724)  
第三者の立場から各種IT製品やシステムに組み込まれるソフトウェアのテスト・評価を行うシステム検証サービスの専門企業。

#### <2008年3月期中間実績>

- ・ 売上の9割強を占める開発支援検証サービスが堅調に推移し、対前年比+43.6%と大きく増加。
- ・ デジタル家電/ITS関連/携帯電話などの主力の検証対象製品分野において堅調に拡大。
- ・ 検証ニーズの増加による増収により、営業利益は前期比+38.3%と大幅な増益。

#### <2008年3月期見通し>

- ・ デジタル家電分野を中心に、検証ニーズは更に増加。増収増益の売上高85億円、経常利益14億円と過去最高益の更新を見込む。
- ・ システム検証技術者の積極採用を推進し体制を強化。システム検証技術者の採用ならびに教育で早期戦力化を狙う。  
来期新卒採用:前年(20名)以上の要員採用を計画

	2006/9	2007/9	増減率	2008/3
売上高	3,110	4,323	39.0%	8,500
営業利益	502	695	38.3%	1,400
営業利益率	16.2%	16.1%	-	16.5%
経常利益	504	702	39.3%	1,400
中間純利益	291	415	42.6%	780

#### 中期経営計画

2011年3月期: 売上120億 営業利益20億

#### サービスウェア・コーポレーション

<会社概要>  
コンタクトセンター運用、バックヤード業務などのビジネスプロセスを、環境変化に応じて常に改善し最適化していく業務アウトソーシングソリューションを提供。

#### <2008年3月期中間実績>

- ・ 通信業向けのヘルプデスク業務およびセールスアウトソーシング業務は引き続き拡大。しかしながら製品端境期などの影響によるテクニカルサポート業務の減少により減収減益。
- ・ 新規案件: IT機器のテクニカルサポートおよび家電業界のコールセンター受注。
- ・ 事業基盤整備として、内部統制の推進や人材確保などの投資を実施。

#### <2008年3月期見通し>

- ・ ビジネスサービス分野の再編に伴い、2008年1月にテクニカルサポート系事業をCCOへ移管予定。(約70億円)
- ・ 金融系バックオフィス業務、通信向けヘルプデスク業務など既存業務が引き続き拡大し、新規業務とともに業績に寄与する予定。  
また、事業拡大を見据えた人材確保や人材育成などの投資を実施予定。

	2006/9	2007/9	増減率	2008/3
売上高	10,005	9,940	△0.6%	22,000
営業利益	821	746	△9.1%	1,584
営業利益率	8.2%	7.5%	-	7.2%
経常利益	858	759	△11.5%	1,592
中間純利益	491	457	△7.1%	906

※サービスウェア・コーポレーション、サービスウェア九州の連結数値  
※2008/3予想は再編考慮せず

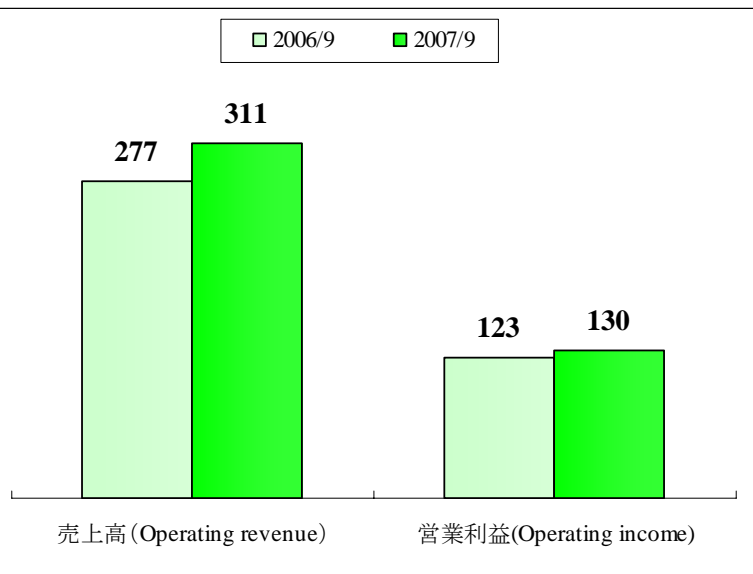
**BPOサービス分野においてもグループを再編し、ビジネスモデルの転換を加速。**

# 金融サービス関連事業の業績(1)



## Operating results of financial services business, securities business and prepaid card business(1)

(単位: 億円/100millions of yen)



		2006/9	2007/9	前年同期比 Variance	増減率
金融サービス事業 Financial services business	売上高 Operating revenue	153	171	17	11.7%
	営業利益 Operating income	122	134	12	10.2%
証券事業 Securities business	売上高 Operating revenue	109	127	17	16.0%
	営業利益 Operating income	2	△3	△6	△236.8%
プリペイドカード事業 Prepaid card business	売上高 Operating revenue	14	12	△2	△13.9%
	営業利益 Operating income	△0	△0	0	-
金融サービス関連事業 Financial services related business	売上高 Operating revenue	277	311	33	12.0%
	営業利益 Operating income	123	130	6	5.0%

※ 金融サービス関連事業 = 金融サービス事業、証券事業、プリペイドカード事業の3つの事業を合わせた総称

<金融サービス関連事業: 売上+12.0%、営業利益+5.0%>

証券事業や不動産関連の投資案件の精算が好調に推移し拡大するも、証券事業の大幅な減益により、営業利益は微増となる。

### 一金融サービス事業

経済環境の改善と並行して、不動産関連への投資環境は引き続き好調。都市部を中心に不動産価格の上昇傾向が引き続き見られ、活況に推移。当面、好環境は継続する見込み。

### 一証券事業

コスモ証券において、募集・売出しの取扱手数料の増加(+80.4%)およびトレーディング収益の増加(+107.9%)により増収となるも、投資信託などの販売増に伴う取引関係費の増加、中期計画に向けた先行投資費用などにより販管費が21億円増加、さらにCSK-RBの立ち上げ費用が加わり営業損失。

### 一プリペイドカード事業

販売促進ツールや株主優待などのギフト需要拡大に加え、書店などの新たな業種への導入など展開するも、流通業における新たなプリペイドカード導入などの影響により売上は減少。収益性が高く、強みであるギフト市場へのシフトを進める。

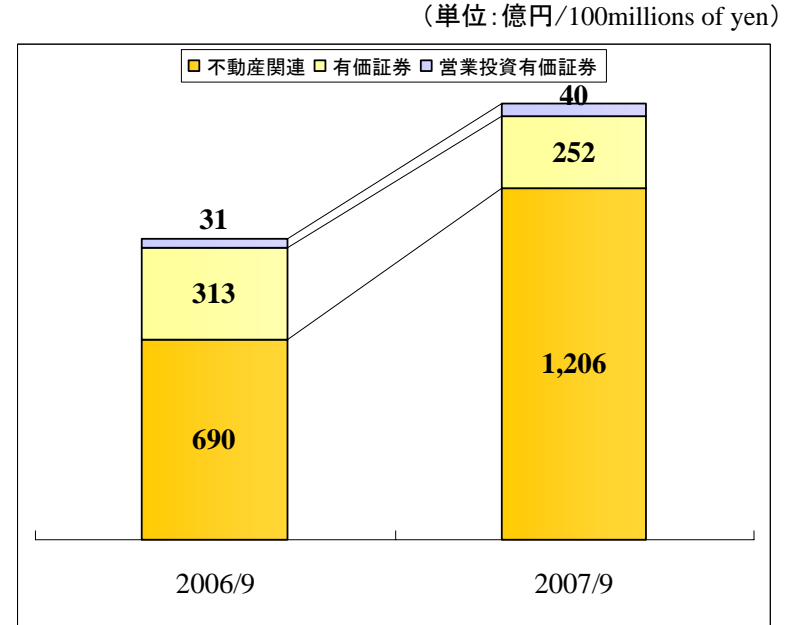
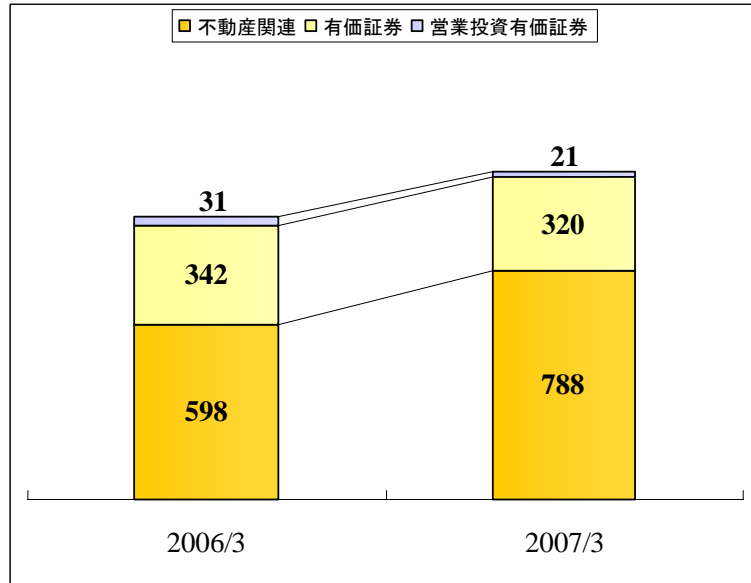
# 金融サービス関連事業の業績(2)



## Operating results of financial services business, securities business and prepaid card business(2)

### 金融サービス事業の投資残高と業績推移

Balance of investment and performance in financial services business



	2006/3	2007/3	前年同期比 Variance
金融サービス運用資産(A)	941	1,108	167
営業投資有価証券(B)	31	21	△10
資産合計(C=A+B)	972	1,129	156
金融サービス負債(D)	-	151	151
資産・負債純額(E=C-D)	972	978	5

売上高	151	250	98
営業利益	106	158	51

	2006/9	2007/9	前年同期比 Variance
金融サービス運用資産(A)	1,003	1,459	455
営業投資有価証券(B)	31	40	9
資産合計(C=A+B)	1,035	1,500	464
金融サービス負債(D)	133	341	207
資産・負債純額(E=C-D)	902	1,159	257

売上高	153	171	17
営業利益	122	134	12



# キャッシュ・フロー

## Cash flows



(単位: 億円/100millions of yen)

	2006/9	2007/9	前年同期比 Variance	増減要因 又は 内容説明 (Reason or explanation of account)
営業キャッシュ・フロー Operating cash flows	78	△69	△147	・金融サービス運用資産の新規投資案件の増加、他
投資キャッシュ・フロー Investing cash flows	△51	△174	△123	・事務所設備、CSK多摩センターの設備取得 ・新証券システム(ソフトウェア)の増加、他
財務キャッシュ・フロー Financial cash flows	307	△15	△323	・2006/9に第7回無担保転換社債型新株予約権付社債を発行 ・自己株式の取得、他
キャッシュ・フロー 計 <sup>※1</sup> Total cash flows <sup>※1</sup>	335	△259	△595	
現預金残高 <sup>※2</sup> Cash & cash equivalents, at end <sup>※2</sup>	1,088	794	△294	

※1：換算差額含む。 Including effect of exchange rate change.

※2：連結範囲変動による増減含む。 Including effect of change in consolidation scope.

# 通期業績予想

## Earnings forecast for FY2008/3



(単位: 億円/100millions of yen)

	2006/3	2007/3	2008/3 Forecast	前期比 Variance	増減率
売上高 Operating revenue	2,411	2,459	2,600	140	5.7%
営業利益 Operating income	251	299	340	40	13.7%
営業利益率 Operating margin	10.4%	12.2%	13.1%	0.9%	-
経常利益 Ordinary income	269	308	350	41	13.6%
当期純利益 Net income	308	86	205	118	136.2%

(単位: 円/yen)

	2006/3	2007/3	2008/3 Forecast	前期比 Variance
1株当たり利益 Earnings per share	410.52	117.35	278.80	161.45

<2008/3期 連結通期業績予想について>

**業績予想修正：営業利益+10億円、経常利益+10億円、当期純利益+5億円**

売上高:

システム開発を中心としたテクノロジーサービス、BPO等を提供するビジネスサービスの双方とも、好調に推移する見通し。

営業利益および経常利益:

情報サービス事業において、新会社立ち上げの費用など増加するも、生産性向上に伴う収益性向上により、大きく増益になる見通し。金融サービス事業も案件増加により、引き続き利益貢献する見通し。

当期純利益:

経常利益までの要因に加え、2007/3期に国税更正処分にかかる過年度法人税等62億円があったこと等により、136.2%の大幅増益となる見通し。

